

ものづくり日本大賞関連実施事業

令和4年度概算要求額 0.5億円（0.1億円）

事業の内容

事業目的・概要

- 「ものづくり日本大賞」は、製造・生産現場の中核を担っている中堅人材や伝統的・文化的な「技」を支えてきた熟練人材、今後を担う若年人材など、「ものづくり」に携わっている幅広い世代の人材の中から、特に優秀と認められる人材を顕彰するものです。
- これにより、ものづくりに携わる者の誇りと意欲の向上を図り、ものづくりに係る技術及び技能の更なる発展と次世代への着実な継承に寄与します。
- 本事業では、令和4年度に選定する予定の第9回「ものづくり日本大賞」に向けた所要の事業を実施します。

成果目標

- ものづくり日本大賞の受賞企業における意欲や知名度の向上といった波及効果を創出するとともに、ものづくりに対する国民的関心を高めることを目指します。

条件（対象者、対象行為、補助率等）



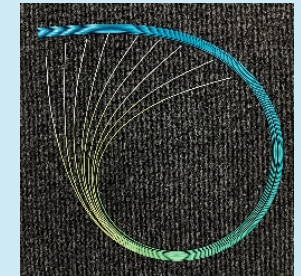
事業イメージ

- 第8回ものづくり日本大賞内閣総理大臣表彰式の様子
(令和2年1月8日 於首相官邸)



- 受賞案件の一例

- 【継ぎ目のないカテーテルの製造装置の開発】
- 生産コストの削減を可能としつつ、カテーテルの継ぎ目からの破損による医療事故の防止への貢献も期待される。



- 本事業の内容想定

- 内閣総理大臣賞表彰式及び経済産業大臣賞表彰式の開催
- 「ものづくり展」を始めとする、表彰対象案件の広報
- 審査委員会の運営